

☆☆☆ 「直接施行に関する相談会」第2回 受付終了☆☆☆

令和元年度「直接施行に関する相談会（第2回）」を以下の通り開催します。毎回締切前に定員となる相談会ですが、今回は都道府県・政令市へのメール告知後約1週間で、定員に達しました。お急ぎの案件がある場合は、「専門家派遣」で対応させていただくこともありますので、お問合せ下さい。なお、令和2年度の相談会は、6月頃、2月頃を予定しております。

- 実施日：令和2年 2月13日（木）
- 場所：公益財団法人区画整理促進機構 会議室
- 相談料：無料
- 定員：4組（先着順）

「令和元年度特別講演会」開催の報告

令和元年11月26日、こくほ21会議室（新宿区市ヶ谷）にて、国土交通省都市局市街地整備課 渡邊浩司 課長と、一般財団法人計量計画研究所 牧村和彦 理事兼研究本部企画戦略部長をお迎えして、「Society5.0 社会を見据えた市街地整備のあり方」をテーマとした講演会を開催しました。当日は83名と多くの皆様にご参加いただき、おかげさまで大変盛況でした。



渡邊課長からは、「未来を見据えた人間中心のまちづくり」と題して、日本の都市政策の方向性やご自身の豊島区での経験を踏まえた公民連携のまちづくり、まちづくりの新たな展開として、人間中心のウォーカブル推進都市へというお話をいただきました。

牧村理事からは、「MaaS時代の交通まちづくり～Society5.0を見据えた新都市計画へ～」と題した講演で、MaaS、Beyond MaaSについて、海外事例も交えて詳細をご教授いただくとともに、モビリティと建物、インフラなどが一体化した新しい都市計画の時代がくる、というお話をいただきました。



↑ 渡邊課長



↑ 牧村理事

アンケートでは、「都市政策を考える視点を変えなければならないというメッセージを感じました」、「Society5.0をより現実的に実感できた。海外事例は特に役に立った」 「MaaSの進展により、街づくりが変わる可能性が高いこと、不動産の価値が変わることが印象に残った」等々、ご意見をいただきました。

「業務代行組合区画整理講習会2019」開催の報告

令和元年10月18日（金）、都市計画会館にて、業務代行方式の正しい理解と活用促進を図ることを目的に、「業務代行組合区画整理講習会2019」を開催しました。今年も多数のお申込みをいただき、申込期限前の9月上旬に定員の45名に達し、その後キャンセル待ちをいただく盛況ぶりでした。



業務代行方式のご経験豊富な諸氏に講師をお願いし、各々の立場から業務代行についてご講演をいただきました。講演後の質疑応答の時間では、講師4人が様々な質問に対応しました。

アンケートでは、「民間の参画メリットがよく分かった」「覚書の例など、具体的で有益であった」等、大変参考になったという回答を多数いただきました。

◆ 講習会プログラム（※敬称略）

開会・挨拶	
1部	「業務代行方式の基礎知識」 公益財団法人区画整理促進機構 支援業務部長 佐藤 元昭
2部	「組合土地区画整理事業と業務代行」 大和測量株式会社 代表取締役社長 小又 啓攝
3部	事例紹介①「総合生活産業としての 土地区画整理事業への取組について」 大和ハウス工業株式会社 東京都市開発部 開発部 開発管理グループ グループ長 小林 義範
	事例紹介②「ゼネコンによる業務代行方式の事例」 清水建設株式会社 土木営業本部 営業部長 諸橋 良哉
全体質疑応答	

本講習会はお問合せが多い講習会であり、受講者も9割以上が新規受講であることから、次年度も同様の内容で開催する予定です。促進機構HPや月刊区画整理にてお知らせいたしますので、今回参加できなかった皆様も是非ご参加ください。

「民間事業者研究会」の活動報告

◆ 令和元年度 第4回 幹事会

日時：令和元年10月4日（金）14:00～14:30

場所：促進機構会議室

内容：令和元年度分科会の開催報告、意見交換会と講演会の実施方針等について議論しました。



↑ 第4回幹事会の様子

◇令和元年度 第1回 分科会

日時：令和元年9月9日（月）15：00～17：30

場所：促進機構会議室

内容：分科会の概要説明と平成30年度の取組み紹介の後、昨年に



↑第1回分科会の様子



↑阪井課長代理

引続きファシリテーターを務めていただく東京都都市整備局開発企画課の阪井暖子課長代理や、分科会支援の玉野総合コンサルタント加塚氏と森山氏が紹介されました。また、全員の自己紹介を経て、SDGsに関する各社の取組み状況等を阪井氏の進行でそれぞれ発表しました。その後、座長・副座長の選任を行い、今年度のスケジュール案を共有しました。

座長	(株)相鉄アーバンクリエイツ 若狭 和大 氏	副座長	東急電鉄(株) 葛西 昭仁 氏 阪急阪神不動産(株) 神谷 晋也 氏
----	---------------------------	-----	---------------------------------------



↑若狭座長（左）と日野市中平主幹（右）

分科会後半は、ゲストスピーカーによるインプットを行いました。

ゲスト：日野市企画経営課 戦略担当主幹 中平 健二郎氏

日野市の抱える問題と目指すまちづくりについて、地域内での住み替えや新たな職住近接をキーワードとし、日野市の目指すポストベッドタウンについて説明いただきました。また、Society5.0と関連し、現在取り組んでいる官民連携のプロジェクトを紹介いただきました。

◇令和元年度 第2回 分科会

日時：令和元年10月4日（金）15：00～17：45

場所：促進機構会議室

内容：今年度のアウトプットイメージについて若狭座長から説明し、最終成果物としてポストベッドタウンの商品（事業スキーム）パンフレットを作成することを提案



↑第2回分科会の様子

しました。ポストベッドタウンをテーマにパンフレットを作ることにについて皆の意見を聞き、



↑グループワーク後のまとめ

日野市をフィールドとしつつ2030年以降のベッドタウンを対象に商品開発をしていくイメージを共有しました。その後、目指すべきポストベッドタウンの姿についてグループワークを行い、相互に発表して理解を深めました。最後に、成果物として複数商品を考えるか、全体で1つに絞るか多数決を取ったところ、同数となり次回持ち越しとなりました。

◇令和元年度第3回 分科会

日時：令和元年11月12日（火）14：00～17：30

場所：柏の葉キャンパス KOIL、UDCK



↑KOIL 概要説明、三井不動産 濱氏

内容：柏の葉スマートシティのKOIL（柏の葉オープンイノベーションラボ）とUDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）を訪問し、概要説明・質疑応答や、施設見学（エネルギーセンター）をしました。柏の葉スマートシティは、国土交通省の「Society5.0」実現に向けたスマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトに選定されており、ポストベッタウンの商品開発の参考になりそうな空間や取組みを拝見することができました。



↑ KOIL 施設見学の様子

その後、UDCK の会場をお借りして、第 2 回分科会で決定できなかった今後の方針（アウトプット）について議論を行い、「複数のテーマを複数のグループで進める（いくつかの場所に落とし込む）」ことで決着しました。



↑ UDCK
永野ディレクター



↑ UDCK 概要説明の様子

■ 令和元年度現地視察会

日時：令和元年11月27日（火）13：00～15：30

場所：パナソニック福島工場

内容：植物工場の最新の動向やパナソニックで手掛ける植物工場の特徴、付加価値をつける取組みについて、パナソニック(株)アグリ事業 SBU 木野課長から説明いただきました。工場見学では、栽培方法や工場建設と経営に関するお話を伺い、その後、野菜の試食をさせていただきました。この工場で作られる野菜は栄養素が高く、農薬を使用しないため洗浄の必要がなく、捨てることもなく、長持ちするという素晴らしい特徴がありました。しかし、価格は路地物の2倍程度と、一般消費者向けにはなりにくいいため、安定供給・安定価格に価値を置く企業向け（B to B）で販路が確保できるかが事業成立のカギとのことでした。



↑ 概要説明の様子



↑ 試食の様子

☆☆☆「区画整理と街づくりフォーラム2020」の開催案内(第1報)☆☆☆

当機構が主催団体の一員を務めている「区画整理と街づくりフォーラム2020」の開催日時・会場が決定しました。**令和2年11月12日（木）・13日（金）**に、**神戸市産業振興センター**にて開催いたします。開催概要や申し込みに関する情報は、来年4月末を目途に街づくり区画整理協会のフォーラムHP (<https://ur-lr.or.jp/forum/>) に掲載予定です。皆様、ぜひご参加ください。

「都市再構築・中心市街地活性化講習会2019」開催の報告

令和元年10月30日(水)・31日(木)に、都市再構築・中心市街地活性化支援協議会の講習会を、埼玉県川越市にて開催しました。当日は水害等の影響で受講キャンセルが相次ぎましたが、76名の皆様に受講いただきました。講師、事務局等関係者を含めると総勢100名を超え、会場は大盛況でした。



↑ 開催地挨拶
川合川越市長



↑ 渡邊市街地整備課長

今回は「多様な世代が集い楽しめる中心市街地のまちづくり」をテーマに、最初に国土交通省都市局市街地整備課の渡邊課長から基調講演をいただきました。特別講演は、上田東一花巻市長から地方創生実現に向けた取組みを伺い、特にマルカン食堂再生の経緯や市長の決断の思いなど、興味深く聴くことができました。事例紹介では、開催地川越市の住民主体のまちづくりの経緯とそれを徹底的にフォローし躍進させる市の取組みや、「ふじえだスマート・コンパクトシティ」の形成で注目を集める藤枝市の先進的かつ柔軟な取組み、リノベ業界では若手カリスマで全国で活躍する株式会社 nest 青木純氏の取組みが紹介されました。

講義後は、講師や国土交通省、県、市の皆様、参加者との交流会を開催しました。名刺交換も進み喉も潤った頃、講師の皆様にも再度登壇してお話をいただき、盛り上がりしました。



↑ 上田花巻市長



↑ 小林都市計画課長



↑ 小柳津都市政策課長



↑ 青木代表取締役

◆講習会プログラム (※敬称略)

10月30日(1日目)

開会挨拶	協議会会長 小前 繁
開催地挨拶	川越市長 川合 善明
基調講演	「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生 国土交通省 都市局 市街地整備課長 渡邊 浩司
事例紹介①	皆が集まる小江戸川越と中心市街地の活性化 川越市 都市計画部 都市計画課長 小林 武
特別講演	花巻市の地域創生の実現にむけて 岩手県花巻市長 上田 東一
事例紹介②	藤枝市中心市街地の官民連携と既存ストック活用によるまちづくり 藤枝市 都市建設部 都市政策課長 兼公共交通政策室長 小柳津 好弘
事例紹介③	新しいパブリックのつくりかた 株式会社 nest 代表取締役 青木 純

2日目は希望者による現地視察会を開催しました。神戸開催から導入している現地視察会ですが、今年も多くの皆様にご参加いただきました。川越市小林課長から視察先や行程の概要説明をいただいた後、㈱まちづくり川越の羽根川課長から講演をいただきました。その後、小江戸蔵里の施設見学をしてから、1日目の事例紹介で講義のあった現地を実際に視察していただきました。長屋リノベーションの飲食店「すずのや」では、物件を手がけた株式会社80%の荒木代表取締役から、建物の概要やリノベーション後の資金回収についてなど、貴重な話を聞くことができ、大変好評でした。

10月31日（2日目）希望者のみ

概要説明	視察先の概要説明 川越市 都市計画課 課長 小林 武
	小江戸蔵里のなりたちとまちづくり川越が目指すもの 株式会社まちづくり川越 総務課長 兼業務企画課長 羽根川 慎
施設見学	小江戸蔵里施設見学 小江戸蔵里（川越市産業観光館）館長 新井 晃
現地視察	現地見学（2班に分かれて見学） 本川越駅西口、中央通り、すずのや、昭和の街、大正浪漫夢通り、一番街、川越まつり会館 【現地視察先での概要説明】株式会社80% 代表取締役 荒木 牧人



↑羽根川課長の講演



↑小江戸蔵里施設見学



↑荒木代表取締役の説明

来年の講習会は、北九州市にて開催予定です。開催日時・場所が決まり次第、促進機構HPや協議会構成団体のメールマガジン等にてお知らせいたします。次回もぜひご参加ください。

「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第25回勉強会」開催の報告

促進機構が事務局支援を行っている全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の第25回勉強会が、令和元年11月6日（水）～7日（木）の2日間、北海道小樽市にて開催されました。

この会議は、全国のまちづくり会社や中心市街地整備推進機構等の団体が情報共有や意見交換をする場として平成19年に設立され、国土交通省の後援のもと、総会（年1回）と勉強会（年2回）を軸に活動しています。促進機構は設立から継続して連絡会議事務局の支援を行っています。



◆ 1日目（11月6日）会場：小樽経済センター

※敬称略

会長挨拶	日野 二郎 会長 (株式会社まちづくり松山 代表取締役)
来賓挨拶	三浦 良平 室長 (国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室)
開催地挨拶・講演	「小樽市における今後のまちづくりの展望について」 小樽市 副市長 小山 秀昭
講演	「小樽市の景観まちづくりの近況について」 小樽市 建設部 新幹線・まちづくり推進室 景観まちづくり担当主幹 中西 浩一
講演	「都市再開発法施行後の全国初の駅前再開発事業から再々開発事業に挑戦 小樽駅前第3ビル再々開発事業について」 小樽駅前ビル株式会社 代表取締役専務 浅村 公二
国からの情報提供	「中心市街地の活性化にむけた取組みの状況について」 内閣府 地方創生推進事務局 参事官補佐 伊藤 嘉道 「中心市街地活性化施策について」 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室 係長 眞壁 純 「まちづくりに関する施策について（情報提供）」 国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室 課長補佐 並河 洋一
交流会	

◆ 2日目（11月7日）現地視察

勉強会の2日目は、小樽駅前ビル(株)山田常務から、小樽駅前第1ビル再再開発の現状について概要説明を受けた後、小樽駅周辺の現地視察等を行いました。駅前広場の再編と第1ビルの更新を一体的に行っていこうと、事業化構想を練っているとのことでした。



勉強会の詳細は、まちづくり連絡会議のホームページに掲載されています。閲覧には当連絡会議へご入会いただく必要がございますので、こちら(<http://www.machikaigi.jp/index.html>)からご入会の手続きを行ってください。



◆お問い合わせ先◆

公益財団法人区画整理促進機構

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 B.D.A. 二番町ビル 2階

電話：03-3230-4513 F A X：03-3230-4514

HPアドレス：<https://www.sokusin.or.jp>E-mail：mail@sokusin.or.jp